

令和4年度 自己評価公表シート

認定こども園たちばな

1. 本園の保育理念、保育目標、保育方針

保育理念

一人一人の子どもを大切にし、保護者からも信頼され、地域に愛されるこども園を目指します。

保育目標

「げんきで なかよく がんばる子」を育てます。

保育方針

- (1) 健康な心と体をつくります。
- (2) 自立心を育みます。
- (3) 協同性を育みます。
- (4) 道徳性や規範意識を育みます。
- (5) 社会生活とのかかわりを深めます。
- (6) 思考力を育みます。
- (7) 自然に関心を持ち、命を大切にします。
- (8) 数や図形、文字などへ興味や関心を持つようにします。
- (9) 言葉による伝え合いを豊かにします。
- (10) 豊かな感性と表現力を育みます。

2. 本年度の基本方針

基本方針

各年齢や発達に応じたアタッチメント（愛着形成）により豊かな人間性を持った子どもを育成する。なお、「非認知的能力」・「こどもの主体性」を重視する。

重点目標

- (1) より質の高い教育・保育を目指し、職員の仕事に対するやりがいを目指す。
- (2) より多くの職員が研修・研究会に参加する。
- (3) 職員の働き方改革を推進し、より働きやすい環境を整備する。
- (4) 地域に根差したこども園を目指し、様々な企業等と連携を図る。

3. 総合的な評価結果

質の高い教育・保育の確保

職員のキャリアアップを目指し、マネジメント、教育保育理論、乳児保育、幼児教育、食育アレルギー、障害児保育分野と様々な研修会にリモート等を活用して参加をして、質の向上に努めた。また、これらの研修を全職員会議（園内研修）で報告をして共通認識が図られた。

研修・研究

園全体で「言葉かけの重要性」の研究を実践し、保育者（大人）の言葉かけが子どもたちの成長発達にどのように影響するかを研究してきた。令和5年度も引き続き行う予定。

働き方改革

「職員が楽しく働けなくては、良い保育はできない！」を園のキャッチフレーズに、働き方改革委員中心に現場の課題や悩みを話し合った。令和4年度は、すべての正規保育教諭が10日間の連休を取れるようにシフトを組み実践した。

地域交流

近隣にある株式会社ナカダイの工場見学及びワークショップに年長児が参加をし、地域の産業に触れるとともに資源リサイクルの大切さを学んだ。

BOOKOFFにてワークショップも行い、物のリサイクルにていて学んだ。

今後もナカダイやBOOKOFFと協力して子どもたちの環境教育に力を入れていく。

4. 今後取り組むべき課題

質の高い教育・保育の確保

職員一人一人がしっかりと自己評価を行い、自分に足りない知識や技能等を振り返り「質の高い教育・保育」の実践に取り組んでいく。

SDGsへの取り組みを充実させて、楽しみながらも地球環境について興味関心をもてるように保育の中で実践していく。

研修・研究

外部研修会に積極的に参加し、質の向上に努める。園内で教育・保育の質を高める研究を継続して行い、研究発表の場を設ける。

地域交流

地域のお店や企業を園内に招いて、こども園の役割を理解してもらったり、子どもたちとの交流を深めたりと、もっと積極的にアプローチする必要がある。

5. 財務状況

前橋市の指導監査により、適正に運営されていると認められている。